



令和5年度 第1回 神奈川県大規模氾濫減災協議会

3 実施事項

3 実施事項

(2) 令和3年12月に改定した主な取組の 進捗状況について

主な取組の進捗状況について

| 取組（H30.1策定） | 取組（R2.6改定） | 取組（R3.12改定） | 進捗状況 |
|--|---|--|-------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 整備効果の高い箇所から、計画的な護岸や遊水地等の整備 重点的に堆積土砂の撤去を実施 | <ul style="list-style-type: none"> 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備を加速 河床掘削・樹木伐採等の緊急実施 | | 実施中 |
| <ul style="list-style-type: none"> 想定最大規模降雨を対象とした浸水想定区域図やハザードマップの見直しを概ね5年を目標に実施 | <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの見直しを令和2年度を目標に実施 | <ul style="list-style-type: none"> 準用河川を含むハザードマップの作成 | 8/21市町作成済 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 作成したハザードマップの周知・活用の検討 | 全市町村実施中 |
| <ul style="list-style-type: none"> 水位計等の増設 | <ul style="list-style-type: none"> 簡易水位計や簡易型河川監視カメラの設置を必要性の高い箇所から設置 | | 実施中 |
| <ul style="list-style-type: none"> 水害対応タイムラインについて、概ね5年を目標に作成 | <ul style="list-style-type: none"> 水害対応タイムラインについて、令和2年度を目標に作成 | <ul style="list-style-type: none"> 作成したタイムラインの検証・見直しを実施 | 26/32市町村実施中 |
| <ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設における避難確保計画を概ね5年を目標に作成 | <ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設における避難確保計画を令和3年度を目標に作成 | <ul style="list-style-type: none"> 要配慮者施設における避難確保計画の作成及び避難訓練の実施 | 8割以上作成済 |
| — | <ul style="list-style-type: none"> わたしの避難行動（マイマップ・マイ・タイムライン等）に係る取組を実施 | | 全市町村実施中 |

主な取組の進捗状況について

◇ 遊水地や流路のボトルネック箇所等の整備の加速（県）

「神奈川県水防災戦略」に掲げた「被害軽減の取組みを加速させるハード対策」として、遊水地の整備や流路のボトルネック箇所の鉄道橋架替など、限られた区域の整備で広い範囲に効果が期待できる大規模事業に重点的、集中的に取り組んでいる。

1 山王川小田急橋梁架替 工事中



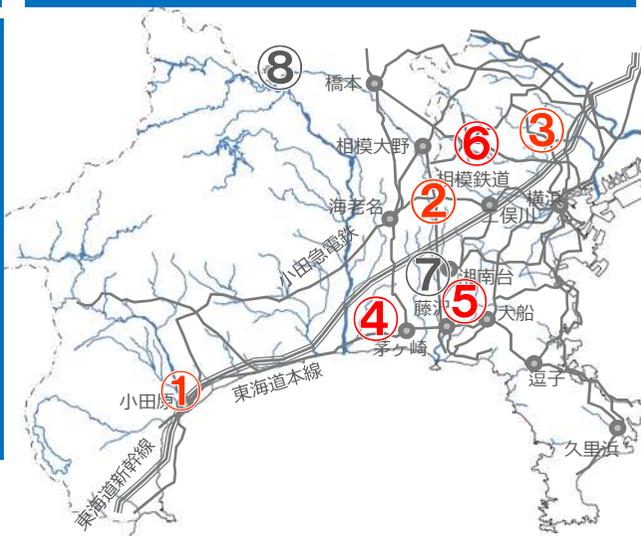
2 境川相鉄橋梁架替 工事中



3 矢上川地下調節池 工事中



4 小出川新規遊水地 工事中



5 柏尾川新規遊水地 工事中

6 恩田川新規遊水地 工事中

7 引地川下土棚遊水地 R2年度 本体完成

8 境川風間遊水地 R3年度 本体完成

主な取組の進捗状況について

◆ 柏尾川新規遊水地の整備（県）

- 令和4年度までに全ての用地取得・物件補償が完了し、**令和5年度から工事に着手**
- 今後、国土強靱化に係る財源を最大限活用して工事を進め、**令和8年度の暫定供用を目指す**



■ 事業スケジュール

| | | 令和4年度まで | 令和5年度 | 令和6年度 | 令和7年度 | 令和8年度 | 令和9年度 | 令和10年度 | 令和11年度 | 令和12年度 | 令和13年度 | 令和14年度 | 令和15年度 |
|---------|-------|---------|---------------|-------|-------|------------|----------------|-------------|--------|--------|--------|----------|-----------|
| 当初計画 | 用地・補償 | 完了 | | | | | | 令和10年度 暫定供用 | | | | | 令和15年度 完成 |
| | 工事 | | 第1期工事(暫定供用まで) | | | | 第2期工事(暫定供用～完成) | | | | | | |
| 暫定供用前倒し | 用地・補償 | | | | | 令和8年度 暫定供用 | | | | | | 完成時期 精査中 | |
| | 工事 | | 第1期工事(暫定供用まで) | | | | 第2期工事(暫定供用～完成) | | | | | | |

暫定供用の
2年前倒し

■ 事業効果

（時間雨量約60mmの降雨が発生した際に想定される浸水面積の減（令和元年公共事業再評価時の検討結果））



浸水面積が
約70ha減少
(完成時)

主な取組の進捗状況について

◇境川風間遊水地の整備（県）

平成23年度から風間遊水地の整備に着手し、令和4年3月に本体工事が完成しました。



風間遊水地の概要

面積：約1ha

貯水容量：約2万 m^3

※雨のピーク時において1秒間に約9 m^3 の洪水を貯水する効果が期待できます

主な取組の進捗状況について

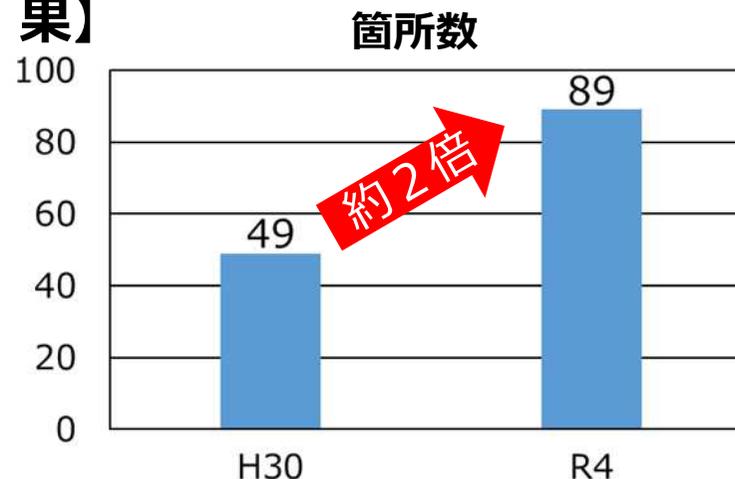
◇河床掘削・樹木伐採等の緊急実施（県）

「神奈川県水防災戦略」に掲げている「**河川の防災対策の充実・強化**」として、**市町村が強く要望している区間や氾濫の危険性が特に高い区間**について、国の「5か年加速化対策」の財源も活用し、堆積土砂の撤去等を重点的に取り組んでいる。

【実績（R2以降）】

| 年度 | 実施箇所 |
|---------|-----------|
| R 2 | 38河川 72箇所 |
| R 3 | 47河川 80箇所 |
| R 4 | 38河川 89箇所 |
| R 5（予定） | 48河川 83箇所 |
| 合計 | 56河川325箇所 |

【成果】



【事例】



渋田川
(平塚市)



主な取組の進捗状況について

◇ 洪水ハザードマップ（市町村）

【これまで】

- 令和2年4月までに、対象となる108河川において、想定最大規模に対応した洪水浸水想定区域図等を作成済（県）
- 想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域図等に基づく洪水ハザードマップの作成・公表については、令和3年度末までに全市町村で完了（市町村）

【課題】

- 水害リスク情報の空白地帯の解消のため、市町村が管理する準用河川を含む洪水浸水想定区域の検討も必要であり、10月末時点で、対象となる21市町のうち、**8市町**で洪水ハザードマップに反映済み
- 多くの方々に水害リスクを把握してもらう必要があることから、更なる周知が必要である。



準用河川を含む洪水ハザードマップの作成状況（R5.10末）

※同一市町村内に対象河川が複数ある場合、すべての河川で作成されれば作成済市町村として着色している

【今後の予定】

- 洪水浸水想定区域図を作成された場合は、速やかに洪水ハザードマップを見直す。
- 協議会等を活用して好事例を共有し、洪水ハザードマップの周知方法や住民が参加した訓練等への活用について検討する。（市町村）

主な取組の進捗状況について

◇ 洪水ハザードマップ（市町村）

【作成にあたっての留意点】

＜隣接市町村における同一河川の情報表示に係る表現の統一化について＞

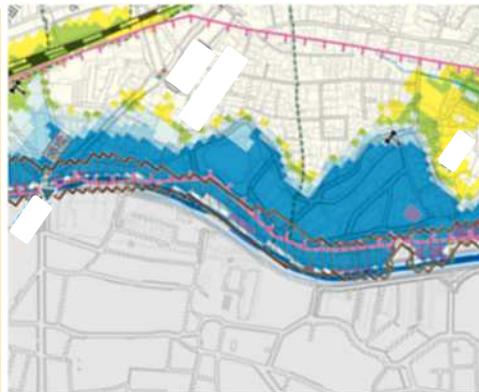
- 「行政界に位置する河川」や「行政界を横断する河川」において、浸水深の区分や配色、記号などの情報表示が、隣接自治体ごとに異なっている事例があり、情報が分かりづらいという県民意見があった。

【対応方針】

今後のハザードマップの更新等にあたっては、自治体間を横断する河川の情報表示について、隣接自治体間で調整しながら、表現の統一化を進めてほしい。

※水害ハザードマップ作成の手引き（P.36）

浸水深等の閾値や配色については、住民のみならず旅行者や通勤・通学者がどこにいても水害リスクを認識し、避難行動を検討できるようにするため、災害間や各市町村間で原則として統一する必要がある。



【A市】



【B市】

主な取組の進捗状況について

◇ 簡易水位計及び簡易型河川監視カメラの設置（県）

【これまで】（令和5年3月末時点）

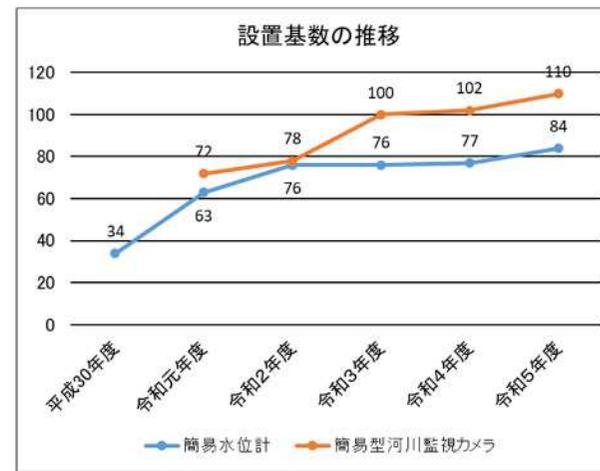
- 簡易水位計 : 41河川、77基設置済
- 簡易型河川監視カメラ : 48河川、102基設置済

【課題】

- 太陽電池で稼働しているため長雨等により無日照状態が続くと電源が喪失し、カメラ画像が確認できない。

【今後の予定】

- 市町村から要望のあった箇所等へ設置を進める。
- 設置済み箇所についても、必要に応じて、商用電源等によるバックアップを進める。



| バックアップ方法 | パネル・蓄電池増設 | 商用電源化 | 合計 |
|-------------------|-----------|-------|-----|
| これまで (R5.3時点) | 17基 | 24基 | 41基 |
| 今後の予定 (R5.3以降) | 21基 | 19基 | 40基 |
| 合計 | 38基 | 43基 | 81基 |



主な取組の進捗状況

◇ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成（市町村）

【これまで】

- 対象施設に向けて、説明会等を実施し、計画作成や訓練実施を促進・支援（市町村）
- 市町村の取組に対し、各所管部局で、必要な情報提示などの支援（県）
- 市町村に対し、県関係機関連名による作成促進の通知を発出（県）

【課題】

- 9月末時点で対象施設のうち、約83%の4,521施設（R4.9末時点:4,146施設）で作成済み

【今後の予定】

- 地域防災計画に対象施設が定められていない市町村は、計画を改定し施設を明記（市町村）
- 計画作成等に向け、取組を継続（市町村）
- 協議会等を活用して好事例を共有するなど、取組促進に向けて支援（県）

| | 浸水想定区域の指定有無 | 地域防災計画に要配慮者利用施設が定められているか | 対象施設数 | 避難確保計画作成済み施設数 | 計画に基づく避難訓練実施数 R5.4.1-R5.9.30 |
|------|-------------|--------------------------|-------|---------------|---------------------------------|
| 全体 | - | - | 5,464 | 4,521 | 660 |
| 横浜市 | ○ | 定められている | 1,594 | 1,456 | 102 |
| 川崎市 | ○ | 定められている | 2,014 | 1,795 | 181 |
| 相模原市 | ○ | 定められている | 58 | 58 | 46 |
| 横須賀市 | ○ | 定められている | 91 | 27 | 8 |
| 平塚市 | ○ | 定められている | 387 | 313 | 65 |
| 鎌倉市 | ○ | 定められている | 264 | 3 | 0 |
| 藤沢市 | ○ | 定められている | 240 | 209 | 51 |
| 小田原市 | ○ | 定められている | 188 | 145 | 20 |
| 茅ヶ崎市 | ○ | 定められている | 116 | 116 | 75 |
| 逗子市 | ○ | 定められている | 23 | 8 | 7 |
| 三浦市 | - | - | - | - | - |
| 秦野市 | ○ | 定められている | 29 | 29 | 5 |
| 厚木市 | ○ | 定められている | 225 | 141 | 22 |
| 大和市 | ○ | 定められている | 25 | 25 | 13 |
| 伊勢原市 | ○ | 定められていない | (6) | (0) | (0) |
| 海老名市 | ○ | 定められている | 95 | 78 | 28 |
| 座間市 | ○ | 定められている | 20 | 9 | 0 |
| 南足柄市 | ○ | 定められている | 23 | 23 | 23 |
| 綾瀬市 | ○ | 定められている | 15 | 15 | 0 |
| 葉山町 | ○ | 定められている | 4 | 4 | 4 |
| 寒川町 | ○ | 定められている | 52 | 32 | 1 |
| 大磯町 | ○ | 定められている | 7 | 7 | 0 |
| 二宮町 | ○ | 定められていない | (1) | (1) | 0 |
| 中井町 | ○ | 定められている | 4 | 4 | 3 |
| 大井町 | ○ | 定められている | 14 | 11 | 3 |
| 松田町 | ○ | 定められている | 7 | 7 | 3 |
| 山北町 | ○ | 定められている | 3 | 0 | 0 |
| 開成町 | ○ | 定められていない | (0) | (0) | (0) |
| 箱根町 | ○ | 定められていない | (1) | (0) | (0) |
| 真鶴町 | - | - | - | - | - |
| 湯河原町 | ○ | 定められている | 11 | 6 | 0 |
| 愛川町 | ○ | 定められていない | (10) | (0) | (0) |
| 清川村 | ○ | 定められていない | (0) | (0) | (0) |

避難確保計画の作成等の進捗状況（R5.9末）

※（ ）内は、洪水浸水想定区域内の対象となる要配慮者利用施設数を記載

主な取組の進捗状況

◇ マイ・タイムライン※（市町村）

※住民一人ひとりのタイムラインで、台風等で河川水位が上昇する時、自分自身がとる防災行動を時系列的に整理・まとめるもの。

【これまで】

- 住民一人ひとりの避難行動に繋がるマイ・タイムラインについて、**全市町村**（R4.10末時点:全市町村）で取組を実施中（市町村）
- 市町村の取組に対し、必要な情報提示やワークショップ等への参加などの支援（県）
- 普及啓発のため、HPで取組を紹介（県）

【課題】

- 全ての市町村で取組を実施しているが、様々なツールを活用して、より多くの住民に作成してもらう必要がある

【今後の予定】

- 様々なツールを活用した取組の拡大（市町村）
- 協議会等で好事例を共有するなど、市町村の取組をいっそう充実できるよう支援（県）

| 市町村名 | マイタイムライン | | | | | | | | その他 |
|------|----------|----|-----|-------------|------------|------|----------|------------|---|
| | HP | 配布 | 講座等 | 広報や防災マップ等掲載 | 訓練やイベントで啓発 | 動画作成 | 作成ガイドブック | ハザードマップに掲載 | |
| 横浜市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | 防災冊子（防災よこはま、じぶん防災ハンドブック等） 防災アプリ（横浜市避難ナビ） |
| 川崎市 | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 防災啓発タブロイド紙 |
| 相模原市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | さがみはら防災ガイドブック |
| 横須賀市 | ○ | - | - | - | - | - | - | ○ | |
| 平塚市 | ○ | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - | ○ | 防災ひらつかチャンネル |
| 鎌倉市 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - | - | ○ | 鎌倉市防災情報ハンドブック |
| 藤沢市 | ○ | ○ | - | - | ○ | - | - | - | ふじさわ防災ナビ |
| 小田原市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | わが家の避難行動マニュアル |
| 茅ヶ崎市 | ○ | ○ | ○ | - | - | - | ○ | ○ | ハザードマップ別冊 ガイドBOOK |
| 逗子市 | - | - | ○ | - | - | - | - | - | |
| 秦野市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | 風水害リーフレット 防災ポケットブック オールハザードマップ |
| 厚木市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | |
| 大和市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | |
| 伊勢原市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | |
| 海老名市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | 海老名市防災ガイドブック |
| 座間市 | - | - | - | - | - | - | - | - | |
| 南足柄市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | |
| 綾瀬市 | ○ | - | ○ | - | ○ | - | - | ○ | |
| 葉山町 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | - | ○ | ○ | |
| 寒川町 | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | 寒川町防災ハンドブック |
| 大磯町 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | 広報「おおいそ」 |
| 二宮町 | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - | - | |
| 中井町 | - | - | ○ | - | ○ | - | - | - | |
| 大井町 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | |
| 松田町 | ○ | - | ○ | - | - | - | ○ | - | |
| 山北町 | - | - | ○ | - | ○ | - | - | - | 高校防災教室での啓発 |
| 開成町 | ○ | - | - | ○ | - | - | - | - | |
| 箱根町 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | はこね防災ガイドブック |
| 湯河原町 | △ | △ | - | ○ | - | - | - | - | ゆがわら防災マップ（R6.4予定） |
| 愛川町 | ○ | - | ○ | ○ | ○ | - | - | ○ | |
| 清川村 | - | - | - | - | - | - | - | ○ | |
| 町田市 | ○ | ○ | ○ | - | - | - | - | ○ | |
| 合計 | 25 | 17 | 22 | 19 | 19 | 5 | 5 | 16 | |

3 実施事項

(3) 取組事例の紹介について

1) 県の取組事例

取組事例の紹介

◇メディアとの情報共有の場について（県）

- 令和元年東日本台風において城山ダムでは、昭和40年の運用開始以来、初めて緊急放流を実施し、記者発表や緊急速報メールなど様々なツールにより、住民に情報発信していたが、**発信者である県と受け手である住民との間で認識が異なっており、危機感や切迫感が十分に伝わらなかった。**
- ダムの防災情報を住民に正しくわかりやすく伝わるよう、緊急放流による影響や昨年導入した事前放流や特例操作などの新たな操作などについて、本格的な台風シーズンに備え、**メディアの方々と情報共有する場を設けた。**

①内 容

【情報共有】：緊急放流（異常洪水時防災操作）による影響について
特例操作及び事前放流の操作方法及びその効果について
記者発表及び記者会見について（実施の目安など）

②効 果

- **ダムの用語や操作、記者発表のタイミング等について共有**でき、メディアの方々との同じ認識を持つことができた。

取組事例の紹介について

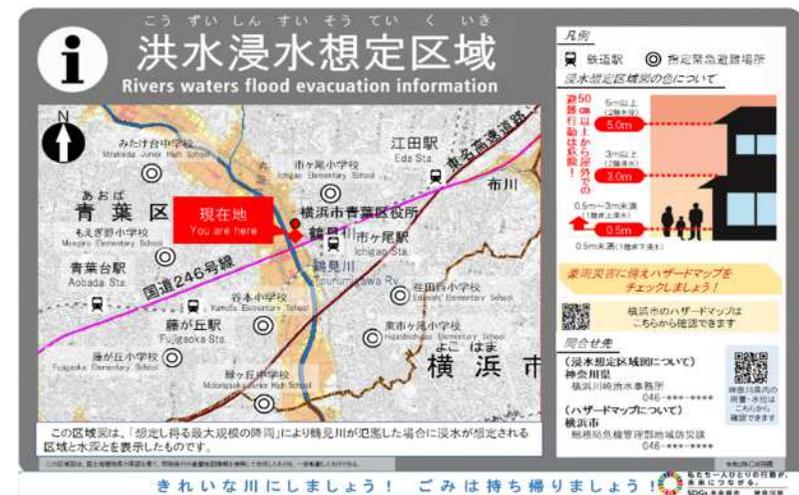
◆ 洪水浸水想定区域の看板設置（県）

- 本県では、住民の自主的な避難を促すソフト対策の一環として、洪水浸水想定区域を周知するため、浸水が想定される県管理河川に、看板の設置を進めている。
- 平成30年度は、洪水予報河川（相模川・酒匂川）を対象に実施し、令和元年度から、水位周知河川へ拡大し、実施している。

【これまでの設置状況】 合計64基設置

洪水予報河川：相模川22基、酒匂川13基
計35基

水位周知河川：鶴見川、大岡川 等
計29基



【令和5年度の予定】

近年、溢水した河川や氾濫危険水位を超過した河川などを中心に、各土木（治水）事務所・センターで2基程度設置する予定。

各市町村におかれましては、設置にあたっての場所の選定 及び ハザードマップ閲覧の二次元コード貼り付けについて、ご協力をお願いします。

取組事例の紹介について

◇ 水防演習の実施（県）

○水防演習は、水害から県民の生命や財産を守るため、水防団や防災機関等の水防活動に従事する者の技術の向上や地域住民の水防に対する理解を深めること等を目的に、実施箇所の近隣水防管理団体（市町村）とともに、隔年で実施している。

【令和6年度】 日 時：令和6年5月26日（日）
場 所：酒匂川スポーツ広場（酒匂川右岸、小田原大橋上流）
主 催：県、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町

【令和4年度実施状況】（厚木市相模川右岸河川敷）

<第1部>

○水防工法訓練

洗掘防止工（木流し工、シート張り工等）

越水防止工（積み土のう工、鋼板積み土のう工等）

シート張り工



鋼板積み土のう工



<第2部>

○救出救助訓練

○排水ポンプ車訓練

○ドローンによる情報収集訓練等

排水ポンプ車訓練



2) 県内自治体の取組事例

取組事例の紹介

◇河川の土砂堆積量の分析におけるDXの取組について（横浜市）

○河道内の堆積土砂の把握の省人化・省力化のため、デジタル技術を活用する実証実験を実施

【令和5年度】

・4月から8月までの4か月間、市内河川において実証実験

【今後の予定】

・令和6年度に本格導入予定

洪水の原因

✓雨が降ると土砂等が流れ込み、河川に堆積することで川の流れが阻害される

職員の負担大

✓横浜市が管理する中小河川は約86km
✓職員が徒歩で目視点検（年1回）

✓職員による土砂堆積の目視作業ゼロを目指す

✓かつ、土砂堆積の傾向を把握をすることで予防的な維持管理を目指す

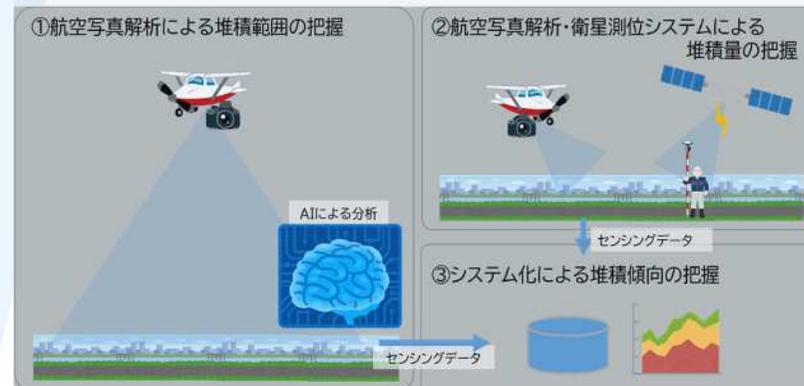


土砂堆積調査（目視点検）

Kanagawa Prefectural Government

実証実験

✓①堆積土砂の範囲、②堆積土砂の量を把握する手法、および経年データを分析することで③堆積傾向を把握する手法について、株式会社建設技術研究所及び株式会社パスコと実証実験を実施（令和5年4月～8月）



実証実験結果へ

取組事例の紹介

◇ 河川の土砂堆積量の分析におけるDXの取組について（横浜市）

✓両社の実験は、堆積土砂の状況を把握するための現地での職員の現場作業を大幅に削減でき、実用可能な精度かつ低コストで堆積土砂量を把握できるとともに、堆積傾向の把握が期待できる結果となった。

◆ 株式会社建設技術研究所

✓航空写真のAI画像判読から①堆積範囲を抽出し、航空写真解析により得た②堆積量の推定と③高さデータによる堆積傾向の把握手法を実証

①航空写真解析による堆積範囲の把握

- ✓ AI検知精度約70%
- ✓ 把握に要していた職員の現場作業をすべて削減（AIに代替）



②航空写真解析による堆積量の把握

- ✓ 堆積量精度 70~130%範囲
- ✓ 把握に要していた職員の現場作業をすべて削減



③システム化による堆積傾向の把握

- ✓ 過去10年分の航空写真から堆積傾向の把握が可能

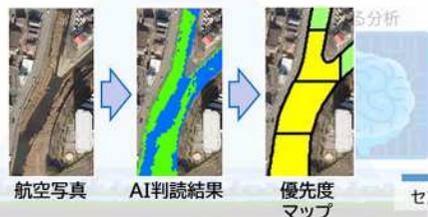
※ 精度 誤差±30%の意味
植生領域での精度（植生領域では草の高さを設定し算出）

◆ 株式会社パスコ

✓航空写真のAI画像判読から①堆積範囲を抽出し、衛星測位システムによる計測等により得た②三次元モデルによる堆積量の把握と③堆積傾向の把握手法を実証

①航空写真解析による堆積範囲の把握

- ✓ AI検知精度約70%
- ✓ 把握に要していた職員の現場作業をすべて削減（AIに代替）



②衛星測位システムによる堆積量の把握

- ✓ 堆積量精度 90~110%範囲
- ✓ 把握に要していた職員の現場作業をすべて削減



③システム化による堆積傾向の把握

- ✓ 測量データを蓄積していき、将来的に堆積傾向の把握可能

※ 精度 誤差±10%の意味

取組事例の紹介

◇水防訓練（広報活動及び残留者確認）について（海老名市）

- 令和元年台風第19号の教訓を鑑み、「海老名市相模川氾濫基本的対処方針」及び「家屋倒壊等氾濫想定区域等広報活動及び残留者確認マニュアル」を作成。
消防本部及び消防団は、相模川の氾濫のおそれがある場合において、家屋倒壊等氾濫想定区域及び浸水想定区域の住民に対して避難情報の伝達及び残留者の確認を実施します。

【令和5年度】

「家屋倒壊等氾濫想定区域等広報活動及び残留者確認マニュアル」に基づく実働訓練（水防訓練）を実施。

【今度の予定】

訓練等をとおした課題の抽出及び消防団員の水防活動の習熟を図ります。



取組事例の紹介

◇ 総合防災訓練について①（大磯町） 参加対象：町民

～避難行動イメージ訓練～

- 大型の台風接近に伴う大雨による土砂災害や洪水等の風水害に備えるため、マイ・タイムラインに基づいた避難行動イメージ訓練や、防災行政無線放送等による情報受伝達訓練を実施。

【令和5年度】

・事前に全戸配布したマイ・タイムラインを町民に作成してもらい、9月30日の訓練当日、町内全域に防災行政無線や防災アプリ・メール、HP等で実災害を想定したシナリオを発信することで、作成したマイ・タイムラインに基づく避難行動の確認(イメージ)訓練を実施した。

【今度の予定】

- ・マイ・タイムラインの啓発は、今後も継続的に実施していく。



取組事例の紹介

◇ 総合防災訓練について②（大磯町） 参加対象：町内会・自主防災組織・民生委員等 ～避難行動要支援者避難対策訓練～

- 個別避難計画作成対象者となる避難行動要支援者の所在等について確認する安否確認訓練や、個別避難計画書の作成に向けた避難支援関係者会議、町の防災アプリである「おおいそ防災・行政ナビ」のTV電話等を用いた情報受伝達訓練を実施。

【令和5年度】

- ・ 9月30日に、町内各地区で町内会役員や自主防災組織、民生委員が集まり実施。

【今度の予定】

- ・ 個別避難計画の作成促進は今後も継続的に実施していく。



避難者支援関係者会議の状況



安否確認訓練の状況



情報受伝達訓練本部の状況

取組事例の紹介

◇ スマートフォン向け防災アプリについて（小田原市）

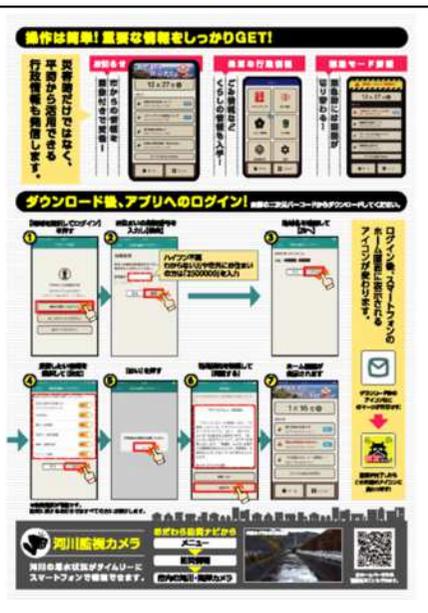
- 市民へ重要な災害情報（避難情報の発令・避難所開設情報）などを迅速かつ正確に周知するため、デジタル田園都市国家構想交付金を利用し、スマートフォン向け防災アプリ（おだわら防災ナビ）を作成した。

【令和5年度】

- ・ 令和5年2月に運用を開始し11月現在、21,060件のダウンロード数となっている。
- ・ 定期的にアプリ啓発資料の配布や、アプリの操作説明会を行い、住民への周知を図っている。
- ・ 災害情報だけでなく、各所管から市内のイベントや情報なども配信でき、多岐にわたる情報を得ることができる。



Kanagawa Prefectural Government



防災アプリチラシ



アプリ内の画面(通常モード・緊急モード)

3) 参考資料

横浜・川崎地域

取組事例

取組事例の紹介

◇ 本庁舎移転に伴う本部機能の強化について（川崎市）

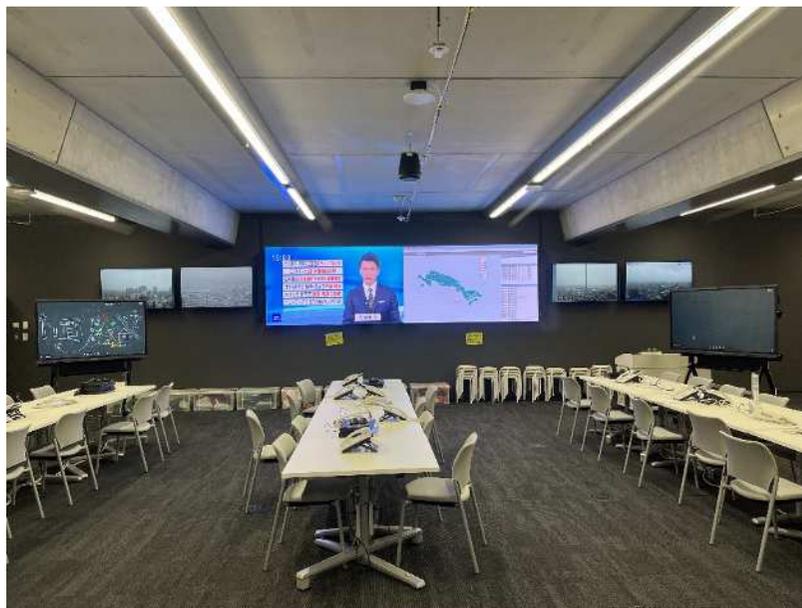
- 本庁舎移転に伴い、令和5年11月6日に市災害対策本部、危機管理本部が移転し、新本庁舎における市災害対策本部の機能強化

【令和5年度】

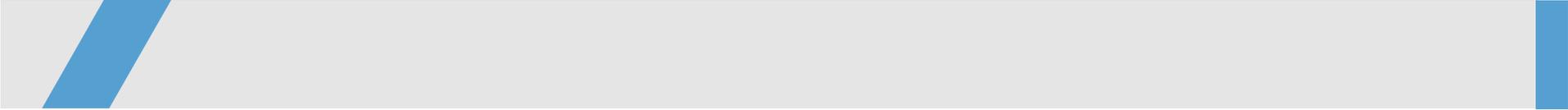
- ・ 令和5年11月6日に市災害対策本部、危機管理本部の移転

【今度の予定】

- ・ 訓練等で運用しながら新設備を活用していく。



Kanagawa Prefectural Government



三浦半島地域

取組事例

取組事例の紹介

◆ 防災読本作成について（葉山町）

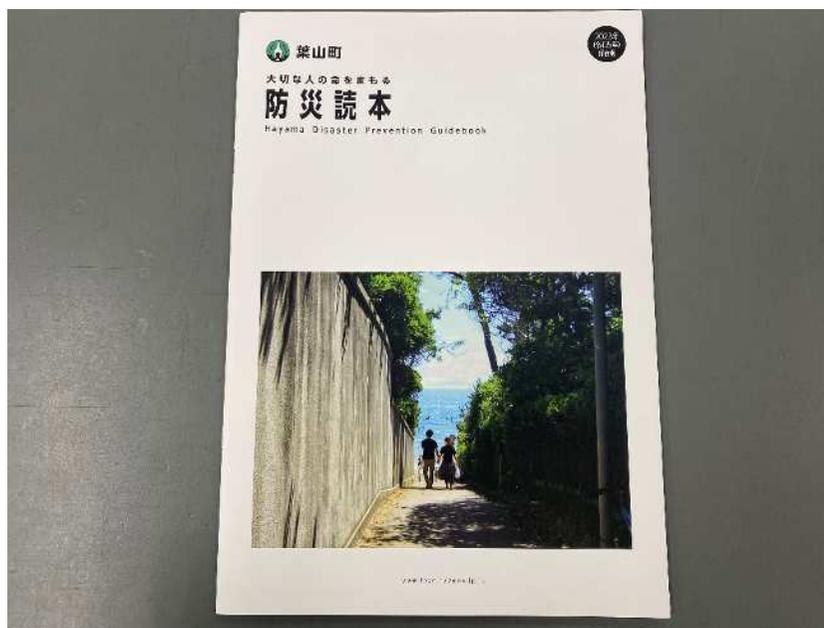
- 防災読本改訂に合わせ、マイタイムラインを大きく記載。

【令和5年度】

- ・ 葉山町内の全世帯に配布を行った。

【今度の予定】

- ・ 町内会の訓練等の際に、活用を図っていく。



令和5年度に改定した防災読本

Kanagawa Prefectural Government



マイタイムラインについてのページ

藤沢・相模原地域

取組事例

取組事例の紹介

◇ マイ・タイムライン出前授業について（相模原市）

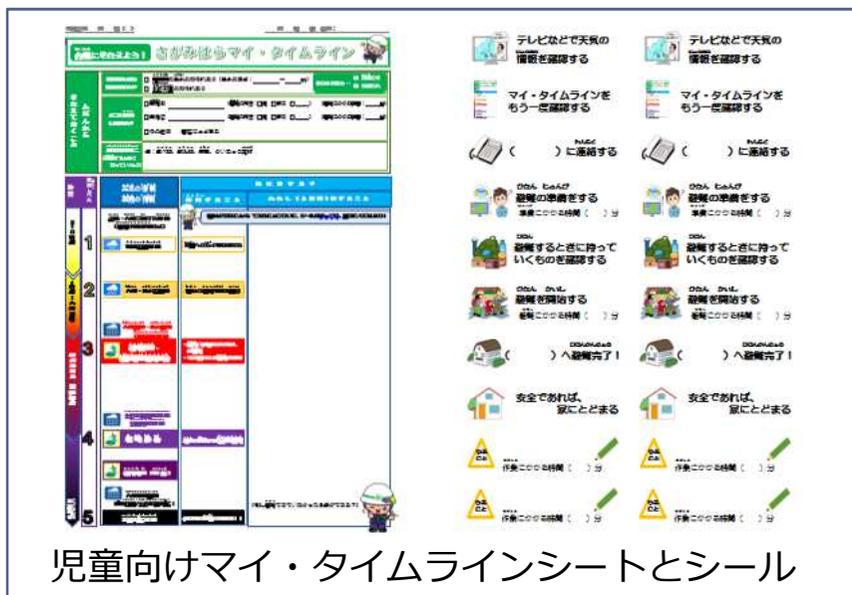
- 令和元年東日本台風を教訓にした防災教育のため、令和2年度から市内の小学校で、市職員が講師となり、マイ・タイムラインを作成する出前授業を実施

【令和5年度】

- ・市立北相中学校（1～3年生）ほか市内小中学校5校において実施

【今後の予定】

- ・今年度中に、市立向陽小学校で実施予定



取組事例の紹介

◇ マイタイム・ラインの取組について（鎌倉市）

【令和4年度】

- ・ 災害ハザード情報や情報収集、避難行動のとり方等を取りまとめた「鎌倉市防災情報ハンドブック」を市内全戸に配布。
- ・ この中に、マイ・タイムラインの記入欄を掲載。

【今後の予定】

- ・ 市内転入者等に随時配布。
- ・ 防災講話等で説明を実施。



取組事例の紹介

◇ 『ふじさわ防災ナビ』について（藤沢市）

○市民の防災知識の向上を図ることを目的とし、『ふじさわ防災ナビ～いま、わたしたちにできること。～』（冊子）を令和3年度に全戸配布した。

【令和4年度】

- ・防災政策課や各市民センター・公民館などの窓口で引き続き配布
- ・指定緊急避難場所の種別に「高潮」を追加

【今度の予定】

- ・内容を適宜時点修正など行い、増刷する。



『ふじさわ防災ナビ～いま、わたしたちにできること。～』表紙



冊子内の『ふじさわマイ・タイムライン』

取組事例の紹介

◇ 避難確保計画作成状況及び訓練実施状況について（茅ヶ崎市）

| 水防法の規定に基づき定める要配慮者利用施設の避難確保計画作成状況及び訓練実施状況 | | |
|--|--|---|
| | 現状 | 課題・対応策 |
| 1. 水防法に基づく要配慮者利用施設数及び避難確保計画の作成状況 | 対象施設数は洪水が116箇所、高潮が65箇所である。令和5年度上半期時点で、洪水については116箇所全てが避難確保計画は作成済みであり、高潮は51箇所が作成済みである。 | 避難確保計画については、現状に応じて適宜更新していく必要があることを、施設の所管課をとおして継続して伝えていく必要がある。年に2回程度、施設所管課の担当者を集めて防災対策課が主催した打ち合わせを実施しており、この打ち合わせをとおして施設に対しての適切な避難確保計画の運用を図ることが必要と考えている。 |
| 2. 避難確保計画に基づき、実施する必要がある避難訓練の実施状況 | 避難確保計画に基づく避難訓練の実施状況は、令和5年度上半期時点で、洪水対象施設が116箇所に対し、訓練実施済みは75箇所となっている。高潮対象施設は65箇所に対し、訓練実施済みは30箇所となっている。 | 避難確保計画に基づく避難訓練は水防法により義務であることから、施設が避難訓練を実施しないことがないよう、訓練実施報告書のひな形を作成しホームページに公開するなど、施設所管課が対象施設に訓練実施を促すことができるような対策を取り纏め課である防災対策課が行っている。今後は、施設が確実に避難確保計画に基づく避難訓練を実施しているかについて、適切に進捗管理する必要があると考えている。 |

取組事例の紹介

◇ マイタイムラインについて（大和市）

- 市民の災害時における避難行動や情報収集などの意識づけとして、広報誌「やまとニュース」で、意識啓発を実施

【令和5年度】

- ・ 6月12日に広報誌「やまとニュース」を発行。
マイタイムラインの作成方法を掲載。

【今度の予定】

- ・ 今後も実施

まずは情報収集。避難は警戒レベルに従って

| 警戒レベル | 緊急安全確保 | とるべき避難行動 |
|-------------------|-------------|----------------|
| 5 | 緊急安全確保 | 命の危険、直ちに安全確保 |
| レベル4「避難指示」直前に必ず避難 | | |
| 4 | 避難指示 | 危険な場所から全員避難 |
| 3 | 高齢者等避難 | 危険な場所から高齢者等は避難 |
| 2 | 大雨・洪水・高潮注意報 | 自らの避難行動を確認 |
| 1 | 早期注意情報 | 災害への心構えを高める |

※警戒レベル1～2は気象庁が、3～5は市が発令。

台風などが近づいてきたら、テレビやラジオ、インターネット、やまとPSメール、やまとSOS支援アプリ、防災気象情報サイトなどで正確な気象情報を収集。気象庁や市からの災害に関する情報を確認してください。

親族や知人宅など、分散避難先も検討します。そのうえで、市が状況に応じて開設する避難場所に避難するときは、避難所等混雑状況表示システム「VACAN」で避難場所などの開設状況や混雑状況が分かります。



日頃の準備はできていますか？

風水害への備え 万全に

これから、台風や大雨などの風水害が発生しやすい季節になります。いざというときに、自分や家族の命を守るため、日頃から準備をしておきましょう。

準備ができているかチェック

- 最新の防災マップで、自宅が「洪水浸水想定区域」や「土砂災害(特別)警戒区域」に位置しているかを確認
- 親族や知人宅など、分散避難先を検討(自宅で安全確保できる場合は2階以上の避難も検討)
- 雨戸や屋根が壊れていないか確認。不安定なアンテナを補強
- 鉢植えや物干しざおなど、飛ばされそうな物は屋内へ移動または固定
- 倒溝や排水溝、雨どいを掃除して、水が流れやすくしておく
- 飲料水などの備蓄品や非常持ち出し品がそろっているか確認

詳しくは、防災マップをダウンロード



マイタイムラインを作りましょう
風水害に備えてあらかじめ行動を決めておく

マイタイムラインとは

風水害に備えて自分の行動をあらかじめ決めておくためのものです。時間の経過に合わせて避難先や非常持ち出し品などを想定しておくことで、いざというときに落ち着いて行動できます。

作ってほしい人

自宅が「洪水浸水想定区域」または「土砂災害(特別)警戒区域」の中にある人。
防災マップで確認してください。



市が作成したマイタイムラインの様式をご活用ください



取組事例の紹介

◇ 災害町歩き研修について（座間市）

○例年、市と N P O 法人ざま災害ボランティアネットワークでは、市民等への防災知識の普及を目的として、防災啓発研修会事業を実施している。

【令和5年度】

同事業の一環として、地域の災害リスクや避難経路を把握することで、適切な避難行動が行われるよう、相模川の浸水想定区域内（新田宿・四ツ谷地区）にて、フィールドワークを含む研修を実施した。



取組事例の紹介

◇ 防災フェアの開催について（綾瀬市）

- 1 目的 語り部による講演及び防災VRによる地震・風水害の疑似体験を通じて、
市民の防災意識の向上を図り、災害時の自助・公助の力を養うことで、大規模災害時の被害の軽減、迅速な復旧・復興を果たすことを目的にする。
- 2 内容（1）語り部による講演
講師：総務省消防庁防災意識向上プロジェクト講師の山田修生氏
（2）防災VR体験及び防災資機材の展示
- 3 日時 令和6年1月20日（土）13：00～16：00
- 4 会場 綾瀬市オーエンス文化会館大ホール及び小ホール
- 5 定員 1,350名
- 6 主催 綾瀬市自治会長連絡協議会、綾瀬市（共催）
- 7 参加対象者 市民等
- 8 その他 手話通訳、要約筆記あり

取組事例の紹介

◇ マイ・タイムラインについて（寒川町）

- 風水害等発生時の行動等を啓発するため、町立小学校で、避難所開設訓練を実施

【令和5年度】

- ・ 10月21日、町立小学校体育館会場において自治会を中心とした避難所開設訓練を実施（67人参加）

【今度の予定】

- ・ 今後も実施



寒川町防災ハンドブックを使って、マイ・タイムラインについて説明



10月21日に実施した避難所開設訓練の状況

取組事例の紹介

◇ 洪水ハザードマップについて（町田市）

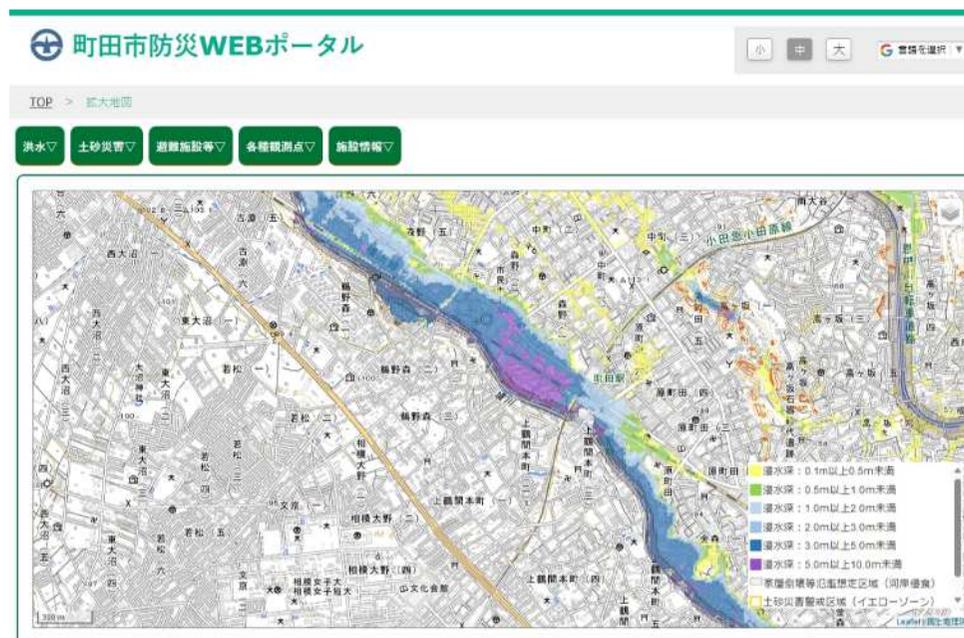
- 水防法第15条第3項に基づき、想定最大規模の洪水ハザードマップの作製を実施しています。

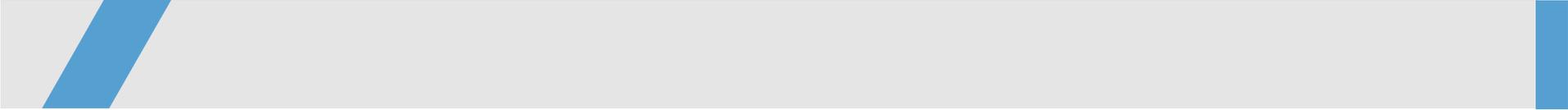
【令和5年度】

- ・ 市民向け防災ポータルサイト（町田市防災WEBポータル）の導入に伴いWEB版のハザードマップを公開。

【今度の予定】

- ・ 町田市防災WEBポータルの市民への更なる周知。





厚木地域

取組事例

取組事例の紹介

◇厚木市地区別防災マップについて（厚木市）

○洪水・浸水想定、土砂災害等の水害被害をはじめとする自然災害のリスクを、地区ごとにまとめた「厚木市地区別防災マップ」を作成し自主防災隊等に説明し活用を促した。

【令和4年度】

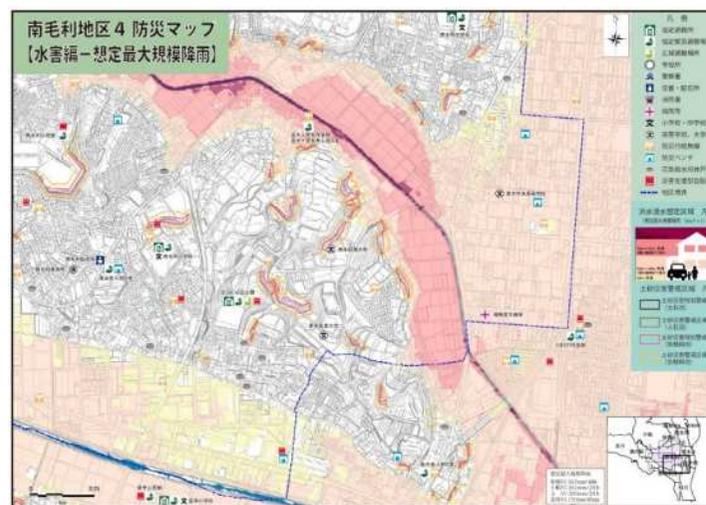
- ・自主防災隊を対象に「厚木市地区別防災マップ」を配布し、活用方法等を説明。

【今度の予定】

- ・地域の防災活動及び防災対策の検討に活用していただき、「地区防災計画」の策定へと繋がるよう支援していく。



Kanagawa Prefectural Government



取組事例の紹介

◇愛川町洪水・土砂災害ハザードマップについて（愛川町）

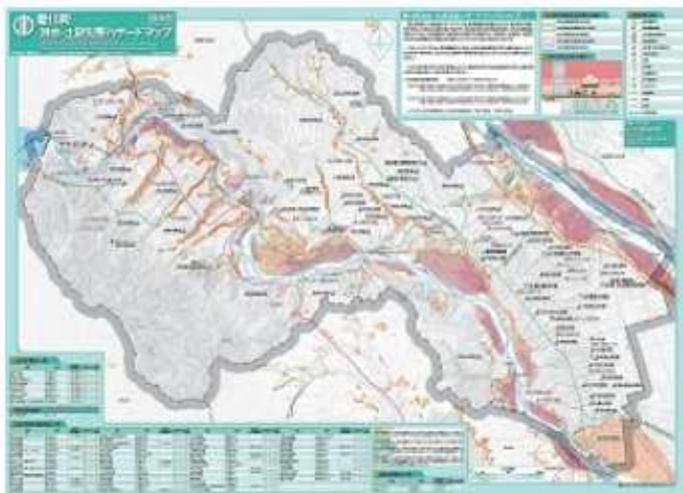
○「愛川町洪水・土砂災害ハザードマップ」は、集中豪雨や台風などにより、洪水やがけ崩れなどが発生した場合に被害を受ける恐れのある区域を「浸水想定区域等」「土砂災害警戒区域等」として示したものです。

また、各種防災情報を記載した情報面を設け、洪水被害や土砂災害が予想される場合、もしくは発生した場合に、町民皆さんが避難などの適切な行動をとっていただけるよう作成したものです。

【取り組み内容】

・令和4年に適切な避難経路等を確認できる「洪水・土砂災害ハザードマップ」を作成し、各家庭に配布及び町公共施設に配架しているほか、自主防災訓練などの機会があるごとに、このマップを活用した避難方法などの周知を実施しているところです。

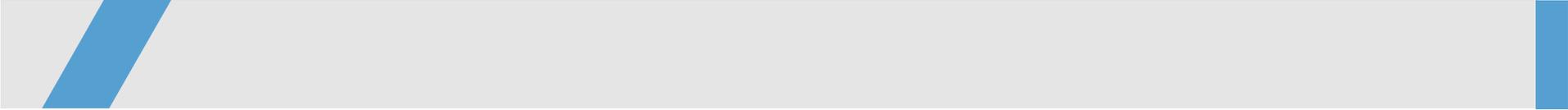
令和5年におきましても、各自治会の自主防災訓練において活用したほか、浸水想定区域を有する行政区を対象とした図上訓練を行い、水防災に関する意識の普及、啓発に努めております。



地図面



情報面



平塚地域

取組事例

取組事例の紹介

◇ 小学生への洪水ハザードマップの啓発について（平塚市）

- 災害対策本部室への見学受け入れを実施しており、小学生向けの防災講話を行っている。各学区周辺の洪水ハザードマップを確認し、災害リスクを説明している。

【令和4年度】

- ・ 11学校、合計児童数820人に実施。

【今度の予定】

- ・ 今後も実施



Kanagawa Prefectural Government



災害対策本部室見学の様子

取組事例の紹介

◇ 水防協力団体と連携した水害対策研修会について（秦野市）

- 鶴巻地区の大雨等による浸水被害の軽減及び地域防災力の強化を目的に、秦野市総合防災情報システムの操作方法及び令和4年度に締結した3施設の地域避難場所の確認を行った。

【令和5年度】

- ・ 令和5年5月20日（土）鶴巻ひかりの街コミュニティセンターにおいて実施（自治会役員等を中心に28人参加）

【今度の予定】

- ・ 訓練の内容を精査し、取組みを継続



秦野市総合防災システムの機能
（河川水位情報）



秦野市総合防災システムの機能
（洪水浸水想定区域）



5月20日（土）に実施した研修会の状況

取組事例の紹介

◇ 大山地区風水害対策訓練の実施について（伊勢原市）

本市では、関東震災後、大山地区に発生した山津波（土石流）の教訓を踏まえ、100年の節目を迎えるこの年に地域の災害特性に応じた対策訓練を大山地区で実施した

- 【日 時】 令和5年5月28日（日曜日）午前9時～正午／大山小学校（大山209）ほか
 【参加者】 大山上、大山中、大山下、子易上、子易下の各自主防災会（328世帯）
 【参加機関】 神奈川県平塚土木事務所、特別養護老人ホーム伊勢原ホーム、軽費老人ホーム大山ホーム、東海大学、大山小学校、大山阿夫利神社、大山観光電鉄（株）、伊勢原警察署、伊勢原市消防団第2分団、伊勢原市消防署、伊勢原市災害ボランティア連絡協議会
 【参加者数】 延べ136人

大山地区 回覧
風水害対策訓練を実施します
 梅雨や台風等の出水期を迎えるに当たり地域の防災体制の強化を図るため訓練（研修）を行います。ぜひご参加ください。

日 時 令和5年5月28日（日）午前10時～正午
※小雨決行。悪天等で訓練を中止する場合は、午前8時までに防災行政用無線放送（大山・子易地区のみ）、市ホームページ、くらし安心メール、市公式ツイッター・LINEでお知らせします。

場 所 伊勢原市立大山小学校 体育館・校庭（大山209番地）
 対 象 大山上、大山中、大山下、子易上、子易下の各自主防災会
 持ち物 体育館履き（スリッパ等）、タオル、水筒、筆記用具等

〈タイムスケジュール〉

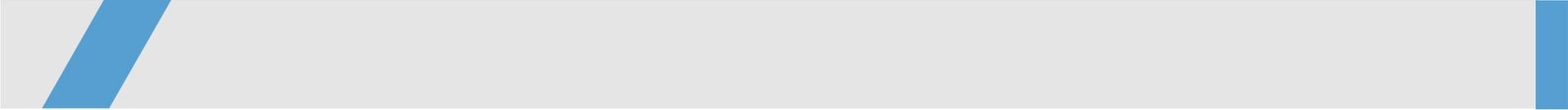
| | |
|-------------------------------|-------------------|
| 10:00 → → → 11:00 → → → 12:00 | |
| 大山小学校体育館内 【防災講話】 | 大山小学校校庭 【実技訓練】 |
| ・関東大震災後の山津波の記録 ・土砂災害の基礎知識 | ・土のう作り体験 |

伊勢原市役所 企画部危機管理課 / 〒259-1188伊勢原市田中348番地
 電話：0463-94-4865（直通） / E-mail：kikiikanri@sehara-city.jp

回覧チラシ（タイムテーブル）



資機材展示・防災講話・土のう作り



県西地域

取組事例

取組事例の紹介

◇ マイ・タイムラインの周知（南足柄市）

- 避難情報の発令に着目したマイ・タイムラインの周知のため、自治会や中学校において防災講話を実施

【令和5年度】

- ・ 5月30日から2月(予定)までの19日間、19会場において実施（約1000人参加）

マイ・タイムライン

7月8日に実施した
千津島自治会
防災講話の状況 →



6月14日に実施した
←南足柄中学校
防災講話の状況

取組事例の紹介

◇ マイ・タイムラインの配布について（大井町）

- 経済的かつ効果的なマイ・タイムラインの普及のため、全戸配布を行う町の広報誌の見開きページに「マイ・タイムライン」を掲載

【令和5年度】

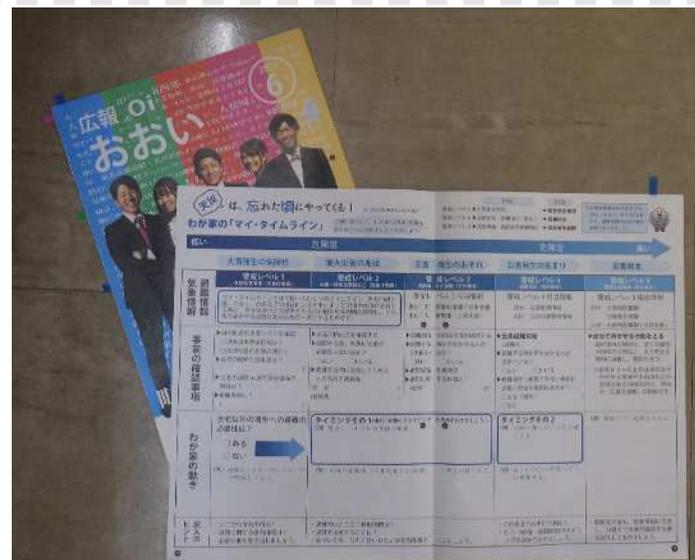
- ・出水期に入る前 6月1日号

【今度の予定】

- ・今後も定期的な掲載を検討



広報誌は役場の窓口でも取得可能



広報おおい6月号

取組事例の紹介

◇ 防災講演会の実施について（松田町）

○ 防災意識の向上のため、ニーズにあった講演会の実施。

【令和4年度】

◆ 1月28日防災倉庫に関する講演会の実施。

【今度の予定】

◆ 9月30日自主防災会と民生委員の連携に関する講演会の実施。

◆ 11月20日小学校での防災授業の実施。

令和6年度の実施する予定。



令和4年度1月28日実施の講演会の様子

取組事例の紹介

◇ 学校における防災教室について（山北町）

○ 山北高等学校において、風水害に関する防災教室を実施し防災意識を啓発

【令和5年度】

・ 4月14日及び21日の2日間、第2学年の未来探求授業に係る防災教室を実施（185人参加） 生徒自身で神奈川県雨量水位情報を開いて確認した。

【今度の予定】

・ 次年度も実施



二次元コードから神奈川県雨量水位情報をスマホで読み込み、ハザードマップと照合・確認した。



4月21日に実施した防災教室の状況

